

～ いくつもの森が生まれていく物語 ～

# 木を植えた人 を聴く会

見返りを求めず、ただ一人で黙々と荒地にどんぐりの実を植え続け、やがて森を蘇らせた老人の物語。

ある人が並はずれた人物かどうかは、長い間にわたってその人物の活動を見つづけることができたときに初めてよくわかります。もし、その人の活動が、たぐいまれな高潔さによるもので、少しのエゴイズムもふくまず、しかもまったくの見返りをもとめないもの、そして、この世に何かを残していくものであることが確かなら、あなたはまちがいにわすれがたい人物の前にいるのです。

朗読で5000人の心に「植樹」(朝日新聞夕刊、2005年1月28日)

原作：ジャン・ジオノ「木を植えた人」(こぐま社刊)

訳：原みち子

朗読：榊原忠美(劇団クセックATC)

演出：榊原忠美・砂谷直仁

協力：

ドングリチケット製作 松本三重子(現代美術作家)

美術・燭台 金憲鎬(キム・ホノ)(陶芸家)

舞台装置 ふくい・木と建築の会

衣装製作 橋本唯美さん(アトリエ玄)

本当に世の中を変えるのは、権力や富ではなく、また、数と力を頼む行動や声高な主張でもなく、静かな持続する意志に支えられた、力まず、目立たず、おのれを頼まず、速効を求めず、ねばり強く、無私な行為です。

(訳者、原みちこさんのあとがきより)

「木を植えた人」を聴くプロジェクトホームページ

<http://tree22.com/>



## 朗読者プロフィール

榊原 忠美(さかきばら ただよし)  
(劇団クセックACT所属)

劇団設立メンバーであり、クセックのかなめ。独特の声、表現力、風貌から「怪優」と形容される。劇団公演として「イエルマ」ガルシア・ロルカ作、「ドンキホーテ」(センバンテス作)など多数。ソロ活動として「砂の本」(ボルヘス作)など。全国で朗読会を開催しており、公演回数160回を数え、5000人を越える人に「木を植えた人」を語っている。また、ナレーターとしても多数のCM・番組などで活躍中。



## ご予約・お問い合わせはこちら

主催：武蔵野大学 環境学部 環境学科 環境学専攻 環境プロジェクト特別演習  
「環境絵本に用いた環境教育」プロジェクト

『木を植えた人』を聴く会 実行委員会 代表：大野 祐美佳

s0435009@stu.musashino-u.ac.jp (◎を@に変えてください)